

令和5年度 校長だより 第12号

1 卒業式

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。緊張した面持ちで科学技術高校に入学してから、はや3年の月日が経ちました。新型コロナの拡大により、中学校3年生の春に臨時休校となって以来、高校生活でも様々に影響を受けてきたことでしょう。ある植物学者の言葉に次のようなものがあります。「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのではない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」みなさんは、科学技術高校での3年間、いろいろなことに挑戦し、様々な変化にも対応してきたことと思います。自信を持ち、胸を張ってそれぞれの道へ進んでください。



1年生、2年生のみなさんは、どのような卒業式を迎えることになるのでしょうか。「時間は有限、夢は無限。さあ、行こう！」

2 「じぶん リセット」

最近読んだ本に書かれていた内容の一部を紹介したいと思います。

皆さんは、どんな夢を持っていますか？将来、こんな仕事に就きたい。いつかこんな国に行ってみたい。こんなものを手に入れたい。自分なりの夢を持つ、いや持てるということ自体、実はとても素晴らしいことなのです。今から150年ほど前まで、夢という感じには「睡眠中の幻覚体験」という意味しかありませんでした。江戸時代が終わり、西洋の文化が入ってきた時、英語の「dream」に「いつか実現させたい自分の理想」という意味があることが分かり、日本語の「夢」にも同様の意味が追加されました。つまりそれまで、一般庶民は自分の夢を持つこともなく人生を終えていたのかもしれませんが。そう考えると、自由に夢を抱き、努力次第でそれを叶えられる現代はなんと素敵な世の中でしょう。

自分の夢を叶えるための最大の武器は何だと思いますか？それは、若さです。無限の希望を貯めることのできる若さ。何度でも挑戦し、そして失敗できる若さ。どんなに偉い人でも、どんなに裕福な人でも、新しい若さを手に入れることはできません。そんな価値ある財産を皆さんは持っているのです。人の身体の中にバケツがあるとしましょう。経験したことや学んだ知識を貯めておくことができるバケツです。若いということはそのバケツが大きいということ。そして貯まるペースが速いということです。満杯になったバケツにいくら新しい水を注いでも、全部こぼれてしまいます。そういう時は一旦バケツを空にすればいい。若いからすぐにまた新しい水が貯まります。このバケツを空にする、という作業も「じぶんリセット」のひとつです。一度バケツに貯めた経験や知識は、その大切な成分だけが本能的に身体の芯まで沁み込んでいくので空っぽにしても大丈夫。けれども、年を重ねるほどに、空にすることが怖くなるのです。捨てることが億劫になるのです。

やる気が湧かなかったり、何をやっても楽しいと感じないのなら、それはバケツが満杯になっている証拠、じぶんリセットのサインです。

夢を抱けることに喜びを感じながら、充実した毎日を過ごしてください。一度きりの人生を楽しく生きてください。この本が皆さんの人生のささやかな分岐点になったとしたら、僕は本当に幸せです。

50歳になってもバケツを空にする勇気のある大人 小山薫堂

(小山薫堂著『じぶんリセット つまらない大人にならないために』から)

3 令和6年度入学者選抜

高校入試(令和6年度静岡県公立高等学校入学者選抜)の時期になりました。志願票の受付が締め切られ、本校入学を目指す志願者が、学力検査や面接試験等に挑みます。

受検生のみなさん、くれぐれも健康管理に注意して、実力を発揮できるよう準備を整えてください。なお、本校学校HPに、受験生のみなさんの先輩である現1年生からの「応援メッセージ」をアップしています。ぜひご覧ください。